

第2次豊明市都市計画マスタープランパブリックコメント意見対応表

	番号	意見内容(概要)	対応
道路の建設推進・道路の利便性に関する意見	1	(P66)地下鉄延伸は徳重駅まで確定しており、その延長上の都市計画道路名古屋岡崎線は平手豊明線からわずか1kmちょっと北東に平行します。名古屋岡崎線の整備により車の交通も緩和されるのではないかと。地下鉄からの総合交通網として平手豊明線より優先して整備すべきでは。	・都市計画道路名古屋岡崎線は優先路線として整備を推進します。
	2	(P57)道路構造を改良し歩道の利用を改良することには賛同するが、歩道の本来の目的が歩行者を車両から守り歩行者特に高齢者や子供の安全を確保することであるから、歩道の幅員を少なくとも2,5m(電柱、側溝が存する場合傘をさして行き違いすることができる最小幅員)とし、歩道と車道の擦り付けは歩車道の連携が必要な部分に限って傾斜の緩和や段差の解消をすべきものとする。この場合都市間連絡幹線道路(重要な都市内幹線道路を含む)を除き車道幅員を削ることも視野に入れて検討すべきものとする。	・道路の幅員と交通量との関係から、現状の歩道と車道の構成の変更の可能性を検討します。 ・道路構造の改良の中で自転車レーンや歩道の改善を検討します。
	3	(P57)歩行者と自転車の分離には賛同するが、自転車が乗って走る場合には車両であり道路交通法の規制を受けることから、自転車レーンがあっても歩行者優先であることを周知徹底するとともに所轄警察署と連携し歩道を自転車で走らないよう指導することが必要である。高齢者にとっては自転車が危険物であり首都圏において大きな事故につながり死亡した例もあることを見落としてはならない。	
	4	(P66)二村山を分断する2本の都市計画道路が建設されることによって二村山という歴史的景勝地がどのように変わるか知りたい。貴重な自然、歴史的景観・風情を大きく損なうなら修正すべき。道路は車社会において便利ですが、便利さを追うことにより貴重な自然は破壊されますし、市民の税金も増えます。現在の生活自体も潤いのないものになる。そして子や孫に身近な自然の豊かさを残せず国、地方自治体の借金を背負っていくことにはならないか。	・広域的な交通の見通しを踏まえ、自然と利便性が両立する最良の方法を模索しながら計画の見直しを検討します。 ・二村山の保全を図るために、二村山環境保全推進協議会等の市民活動を支援することを計画の中で示しています。

	番号	意見内容(概要)	対応
道路の建設推進・道路の利便性に関する意見	5	(P 6 6)二村山のすぐふもと南には、豊明団地という豊明最大の住宅地があり幹線道路は住民生活に騒音等の公害をもたらすだけでなく、住宅地に身近な二村山という貴重な自然を損なうことになる。二村山が市民や病院の患者、学生、職員の憩いの場になることを期待する。	
	6	(P 6 6)大根若王子線の若王子までの通り抜けをやめ保健衛生大学病院止まりとしたらどうか。それだけでも、大学病院へのアクセスは利便性が高まり、平手豊明線の混雑も緩和されるのではないか。通り抜けは当面凍結して、必要性や費用対効果、自然と利便性との比較考量をしていくべきだ。	・広域的な交通の見通しを踏まえ、自然と利便性が両立する最良の方法を模索しながら計画の見直しを検討します。
	7	(P 6 6)二村山の道路整備のような「争点」になることは広く市民に知らせ関心をもってもらい合意を形成していくことが重要。これが、都市マスの上位規定である第4次豊明市総合計画の基本理念「協働で創るしあわせ社会」、将来の都市像「人・自然・文化ほほえむ安全都市」になるのでは。	・計画の見直し・変更にあたっては、様々な意見聴取の方法を講じていきます。
	8	(地区別計画 P 7 4) 国道1号の交差点部分の右折レーンは存在します。	・ご指摘の箇所は市道部分であるため記述を訂正します。 ・前後駅周辺の交通形態を考慮して、交通規制や改良の検討が必要です。
	9	(P 7 4) 駅周辺の歩車共存道路について「右折レーンの設置」を「左折レーンの設置」にした方が良い。名古屋より南に向けた銀行交差点の左折レーンが必要だ。	
	10	(P 6 0) 徳重駅から大学病院までのバス等の充実を図ってはどうか。	・バス事業者の路線バスとして検討されるものと考えます。

	番号	意見内容(概要)	対応
意見 前後駅周辺・豊明駅周辺・三崎の各拠点地区の都市計画全般に関する	11	<p>10万都市の実現と諸税収増は財政再建の大きな柱になると思う。</p> <p>住宅都市(10万人都市)実現のための提案</p> <p>(P42) 前後駅周辺の商業地域を見直し、中高層住宅地としての位置づけを明確にする。</p> <p>(P46) 市街化調整区域の大幅な見直しと、大型区画整理を実施する。</p> <p>(P18) 東部田園都市ゾーンは農業地域の特性を生かした宅地化を推進する。</p>	・ご意見の趣旨は、計画の中に反映させています。
	12	<p>(P64) 前後駅周辺の中高層住宅化について</p> <p>大きな社会問題ともなっている中小都市駅前商店街の空洞化現象は社会情勢の変化から必然の状況ともいえる。区画整理された前後駅南も商業核として発展する可能性は極めて少ない。通勤、通学の利便性を強調した中高層住宅の誘導を積極的に進めたい。</p> <p>現に中小店舗と住宅が混在する状況もある。雑居ビルや貸店舗のまちにならないようにしたい。</p> <p>車社会の商業は郊外の大型店にたよらざるを得ない。国が最近出している施策には反するが南部(栄地区)と北部(沓掛地区)に駐車場の完備をした大型店を誘致することが豊明にとっては有益であると思う。</p>	・ご意見の趣旨は、計画の中に反映させています。
	13	<p>時代の変化や市民のニーズを先取りし、豊明市が変革することが実感できる夢を持たせるものであってほしい。</p>	・ご意見の趣旨は、計画の中に反映させています。
	14	<p>上下水道の整備及び幹線道路の整備は市民の目に映る具体的として着実に実施されている。このことは住宅都市豊明の魅力を鮮明にする大きな要素である。</p>	

	番号	意見内容(概要)	対応
前後駅周辺・豊明駅周辺・三崎の各拠点地区の都市計画全般に関する意見	15	(P35)人口フレームを平成28年に72400人としているが、豊明市の場合この10年間の伸び率は低くなってきており、このままでは70820人程度の見込みになる。ところが近年は更に人口の伸び率が鈍化しており、最悪の場合減少に転ずることもあるのではないかと懸念も生まれている。例えば名古屋市は、傾向があったものの持ち直した。都市部から郊外への人口移動が見られ緑区が大きく膨らむ見込みだ。これが地下鉄6号線の延伸に繋がったかもしれない。また日進市への移動も大きい。2030年には日本中で人口減少が見込まれている中、11都市で極端な減少はなく2000年当時の人口に止まるであろうと言われている。豊田市、刈谷市、安城市の統計も併記したが刈谷市、安城市の場合は5%の伸び率。住宅の着工比率が県下30位であるため人口増加にブレーキがかかったのかもしれない。群馬県の新治村では交流事業に活路を見だし8000人に満たない村に年間45万人の観光客が訪れる。三重県の多気町では池周辺に動物園やボート、運動施設を併設し、全国から35万人の客を集めている。さらに相可高校の生徒が「おばあちゃんの・・・」という食堂で料理を作り連日賑わいを見せており、これら生徒は大阪の吉兆等有名店への就職を果たしている。	・市街化調整区域の市街化区域編入や中高層住宅の誘導等により、人口増加策を講じることを計画に盛り込んでいます。
	16	人口密度は愛知県下31市中9番目に高いことから、これ以上増えるのは好ましくない。	・本市も今後高齢化の一層の進行が予想されます。そのため、老若が一体となって活躍できる都市づくりをめざしています。
	17	(P1)序章1.(2)見直しの経緯において、少子・高齢化や環境問題の深刻化とあるが、地方自治体の合併推進、三位一体改革が進められる最大の原因である財政問題は必要不可欠であるため、「少子・高齢化、そして、財政や環境問題の深刻化など」のように改めるべきと考えるが、都市マスでは財政についてどのように考えているか。	・将来目標人口を達成するために、総合計画と連動して計画を推進していきます。

	番号	意見内容(概要)	対応
前後駅周辺・豊明駅周辺・三崎の各拠点地区の都市計画全般に関する意見	18	(P46)市街化調整区域の見直しと大型区画整理について 市街化区域に隣接する地域全体を市街化区域に編入することを前提に民間デベロッパを主体にした開発をすすめる。北の玄関口と称する隣接する市町においては着々と宅地化計画がすすんでいる。超長期的な展望ではなく、大規模な区画整理を計画する時期にきている。とを実施する中で大根若王子線の前面開通も現実味を帯びてくるし、価値も倍増する。地下鉄開通の折にはまさに長期的展望に立ったプランがあったということにもなる。	・市街化区域編入候補地区の中で、編入条件を満たすように努力していきます。
	19	市街化編入候補区域の編入順序は決まっているか。	
	20	編入してからの基盤整備やまちづくり政策を考えておかなければならないと思う。	
	21	市街化調整区域での地価の高騰、下落傾向にはあるものの庶民にとっては依然として高嶺の花、結果として狭い宅地、建売り住宅にならざるを得ない。	・市街化調整区域の市街化区域編入を行う場合は、地区計画の指定などにより、良好な居住環境が形成されるよう規制・誘導策を検討します。
	22	(P46)税金対策として小規模アパート貸し店舗の建設は住環境としてよい傾向にはなく、市民意識も薄い。緑と土に囲まれた潤いのある住環境を作り出す、大幅な市街化調整区域の見直しをしたい。	
	23	下水道整備については市街化区域編入と併せて考え、都市計画税等、財政に係る収入と支出のバランスを考えることが必要だ。	・現在「下水道整備進め方検討委員会」で検討しています。
	24	(P33, 34)前後駅、豊明駅周辺の容積率見直しは、道路等の拡幅協力や託児所、高齢者福祉施設、郵便局等の公共施設の設置に応じた容積率割増をすべきである。駅周辺は人の密集する所であり、災害時にオープンスペース、道路状況により救済能力が変わる。特に前後駅は既存の建物も多く、名鉄、旧国道、国道1号線が狭い所に集中しておりオープンスペース、歩道等道路拡幅は重要です。また、少子・高齢化社会をふまえ、安心して歩ける歩道の確保は市民、商店、アパート所有者等に有益です。市民、地権者のお互いの利益になる「WIN WIN」の関係構築が重要です。駅前再開発の必要性が出てきた場合は、多額の費用と人の集まる場所での事業なので、行政の透明性、信頼性を確保し、駐車場等様々な問題を総合的に考慮する必要がある。	・ご意見の趣旨をふまえて、地区計画の指定の中で検討します。

	番号	意見内容(概要)	対応
前後駅周辺・豊明駅周辺・三崎の各拠点地区の都市計画全般に関する意見	25	(P38, 39) 北部地区の新規市街地住宅ゾーンは、都市基盤整備による財政的支出と自然環境との調和が課題になります。地下鉄は徳重駅まで確定しているが、豊明までは財政的に実現性が低いと思われます。需要も予想されますが、都市基盤整備においては需要の創出と見極めにより損失を防ぐようにしなければならない。若王子池や勅使池の「水と緑のネットワーク軸」とどう調和させていくかが重要。	・指摘の趣旨も十分踏まえて計画を推進します。
	26	(P37) 田園住居ゾーンの目指す姿について 農業後継者が減少の一途をたどる現在、皆無に等しい状態になることも予測される現状である。近郊農業はもとより地産池消もおぼつかず、委託による米づくりでなんとか維持している農地所有者が大半である。目指すところは自産自消の農業ではないか。 大規模市民農園の構想は的を得ていると思う。 いつでも行ける、誰でもやれるが持続する根源であることに留意した諸施策を期待したい。 種々の法規制もあろうが、現集落及びその周辺の宅地化をすすめ、貸し農地付き住宅の建設は田園住宅ゾーンとして大きな魅力になると思う。	
	27	境川流域を刈谷市と大府市共同で潤いゾーン(境川3市公園)として整備する。 (P49) 境川の治水については3市に共通する課題である。大型の貯留池の付設、堤防の補強等に連携して取り組む必要のある整備も多い。河川敷の利用を含め3者協力して公園化取り組みをしたい。	・隣接都市との連携を進めていきます。
	28	(P59) 第二東名の開通に伴う道路建設、土地利用等の広域都市計画づくりを含め、3者の協力は豊明市の発展に役立つものと考ええる。	

	番号	意見内容(概要)	対応
前後駅周辺・豊明駅周辺・三崎の各拠点地区の都市計画全般に関する意見	29	(P33)都市づくりの理念から都市づくりの目標までの基本的な考え方のなかに人口増加策の必要性が揭示されていない、そのような状況のなかで第一種低層住居専用地域及び第一種中高層住居専用地域である二村台地区を規制緩和して高層住宅を誘導する方針の根拠があるのだろうか。(同)調査が必要ではあるが、豊明市の市街化区域には住宅建設が可能な余地のある空き地が相当数残っており、これらの土地を有効利用すれば目標人口72,400人を確保するのは可能なものと考えられ、少なくとも現状の把握と方針の策定のための検討を先行すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的に考えると建物の老朽化と居住者の高齢化が進み、団地の再生は不可欠な課題となります。その時に、オープンスペースを確保し、ゆとりのある居住環境を形成する手法の一つとして高層化を検討する必要があります。 ・当然建替えに当たっては、高齢者居住者の意向や周辺環境への影響を考慮しながら、他の手法も含めて検討する必要があります。
	30	(P33)二村台地区は、旧日本住宅公団が現在の1丁目から7丁目までの97ヘクタールを開発し、賃貸住宅と分譲住宅を併せて2327戸、分譲住宅670戸分を公団所有地とし、960戸分の民有地(集合農地<ぶどう園>等を除く)の造成を行ったところである。いいかえると、二村台は一団地の町として計画的に作られたもので、それなりにまとまった(必ずしも計画意図が守られているとはいえないが。)まちであることから無分別に容積率を緩和し高層化を誘導することは「まち」そのもののバランスを崩すこととなり、ひいては豊明市全体の都市計画を崩しかねないものである。したがって、二村台地区においては、高層住宅の誘導をすることは許されないものとする。	
	31	<p>豊明団地地区の中層(5階)賃貸住宅は昭和40年代に建設されその耐用年数は70年とされており(家賃計算も70年で償還することとされている。)必ずしも老朽化しているとはいえないものである。かつ、他地区において行われた建替事業においては入居者が建替え後の住宅の家賃が高額になることから入居できず困ったことが報じられた。豊明団地の入居者は高齢者が多く、建替後の住宅に入居することが困難な人が多く転居すれば慣れない土地での生活が苦しいものとなるものと考えられる。</p> <p>したがって、良好な中高層住宅の再生に向けて、独立行政法人都市再生機構と協議して再開発・建替えを検討する必要はないものであり、かえって高齢者の生活を踏みにじるものとなりかねないので慎重に検討すべきである。</p>	

	番号	意見内容(概要)	対応
	32	(P 3 3) 豊明団地地区における都市再生機構による建替えの検討は、家賃の値上げも予想されるので現居住者の意見も尊重し、また、計画について早い情報提供・公開も事業成功の鍵になる。	・同上
花バザール構想、自然環境、治水に関する意見	33	豊明駅の近くにある花き市場に付いてであるが、そもそも何故これが豊明市の P R 材料になるのか？ 豊明市と花を結び付ける要因はない。知立市とかきつばたなら分かるが。	・鉢物市場では日本最大規模を誇っており、今後さらに機能の拡充が期待されています。その機会に、豊明市の農業、商業の活性化の核として必要な機能の整備を計画しています。
	34	花き市場の西側にショッピングモールを誘致するということだが、近くに刈谷ロックタウンがあるにもかかわらずそんなものを誘致して大丈夫なのか？ 店側も採算に合うだけの商売ができるのか？	
	35	(P 2 1) しばしば豊明花きセンターが出てくるが、ここに入っているのは豊明アグリ(従業員14名)、日本植物運輸(豊明、豊橋、渥美、東京、埼玉、茨城、山形、岩手、駒ヶ根、豊明物流)、豊明花き株式会社(田原営業所グループ会社2社)、ジャパンフラワープログレスなどの会社であって、豊明市の花きを中心に扱っているのではないようです。卸売り業者のための場所であって一般の人が入れるところではないので、市民に関心を持ってもらえないし人的交流は限定的。花きと言えば愛知県は全国的にも最も盛んな県で、花き、切り花、菊、バラ、鉢物シクラメン、洋ラン、サボテン、観葉植物、花木、花壇用苗などが日本一。渥美半島の電照菊農家は1200軒で出荷額は年間250億円に上り、農協別の出荷額では全国シェアの35%を占めている。	
	36	市内各地に花だんを設けるということだが、花は当然ながら虫を寄り付けてしまうので、ハチの増加といったような害虫問題を深刻化させることになりはしないか？	
			・こうした問題が自主的に解決されることが「花のまち」になることだと考えます。そのためには、花を愛し育てる心が市民に浸透することが重要であると考えます。

	番号	意見内容(概要)	対応
花バザール構想、 自然環境、 治水に関する意見	37	(P38)「親水」とは「水との親和性があること」「水に親しむこと」。「親水」という言葉をよく使っているが、勅使池は階段が作られ拒水整備されている。実情と違うのではないか。	・市民が自然と触れ合うことができる場として整備を目指しています。
	38	(P48)「県事業に合わせて自然環境を最大限に生かす整備を進めます」とありますが、勅使池整備事業自体がコンクリート護岸や自然の宝庫とも言われる入江部分の埋立てなど自然環境を破壊している上に15億円もの巨額の税金投入がある。計画を見直す必要があるがどう考えているか。	・自然環境を保全しながら市民が自然に親しむことができる拠点として整備します。
	39	勅使池の整備は愛知県主導で行われていますが、この事業は市内・地域の利益向上の要素が大きく、本来市がイニシアチブを発揮し本都市マスに示す理念に誘導していくのが地方行政本来の姿勢と理解しています。整備後は市及び地域が維持管理を担うこととなるため、建設計画と併せ管理運用のあり方についても提示されるべき。	・管理運営のあり方については、市民協働を念頭において検討します。
	40	エントランスゾーンは死角となる場所であり、青少年の不良行為を招くようなトイレ等陰を生み出す施設は絶対排除して欲しい。便宜さ・過剰なほどの安全面を優先しソフト面(位置付け・存在)の慎重さが欠如する恐れがあるので市行政の対応(監視)をお願いする。	
	41	勅使池整備は、豊明市のビッグ(自慢)事業であり、周辺環境と調和した施設を経済的かつ利用しやすいものとし新たな付加価値を生み出すようなトータルデザインの内容にして欲しい。これまでの仕上がり状態からみて、その理念に沿ったデザインセンス(新たな財を生む発想が不明)を有しているか疑問を感じる。	
	42	維持管理の立場から整備計画のあり方を検証するシステムを構築して欲しい。	

	番号	意見内容(概要)	対応
市の対応方法、考え方、市民参加に関する意見	43	情報開示について担当課である都市計画課においては、都市マスタープランが一部準備されていたが、140ページという膨大なものであり短時間で閲覧することは難しく、コピーすることなどさらに難しいものであった。なお、「市のホームページ」からのダウンロードは高齢者にとっては難しいことであった。これらのことは、直接市民の生活に影響することでもあり、義務的に公表するのではなく広く市民にPRする形で公表すべきもので、内容が不明のまま意見も言わずそのままの計画でまちづくりが行われてしまうとすれば市民の権利を侵害することになりかねないものと言わざるを得ない。	・豊明市パブリックコメント手続要綱にもとづいて計画案の公表と意見を聴取しています。
	44	できるだけ多くの市民に見てもらい、できれば御用聞きをするかたちで意見を募ることも考えるべきである。	
	45	なお、このような意見があったものについては、第2次豊明市都市マスタープラン(原案)とともに市民に公表したうえで、多くの市民の公平な意見交換がなされるような状況を作るのが市当局の義務であると考えます。	・意見とその対応方針は市のホームページ上及び窓口における閲覧にて公表します。
	46	(P3)都市マスは、住民参加のもとに定めるものであり、住民参加は今後ますます加速されると予想されるが、進行管理や見直しにおける市民参加の方法を教えて欲しい。	・計画の推進においては、「序章の地区別計画の推進」で説明しているような市民参加の機会があります。
	47	(P4)地域の団体・グループの中に小中学校と高校も追加して欲しい。これら子供の市民的資質を育てるとともに、学校・地域・行政の三者がパートナーシップを築き親や地域の大人も良き市民となることが期待される。愛教大の寺本潔氏のアドバイザー派遣を望む。	・ここでは中心となって活動する代表例を示したもので、計画の推進にあたっては様々な団体・グループの参加・協力を想定しています。
	48	(P34)市民が主体的に活動する地域社会の形成には、NPOや町内会の発展が必要。	・指摘の趣旨も十分踏まえて計画を推進します。

	番号	意見内容(概要)	対応
市の対応方法、考え方、市民参加に関する意見	49	(P49)ため池の整備を市民協働で推進するなら、市民に身近な部署で窓口を一本にすべきである。	・市民活動を支援する窓口は一本化が必要ですが、各分野の市民協働は各部署で推進することが重要であると考えています。
	50	(P74など)市民農園や花畑プロジェクト等の計画は取組みの中核と期待される町内会やNPO等各団体と行政の協力、それと市民の組織化、市関連各課の調整や窓口の確立等どのように進めていくか、また現在の進行状況を教えて欲しい	・条例の制定や支援制度の創設など、活動を推進するための体制づくりと合わせて検討します。
	51	市は、これからも市民団体の育成に努めていくということであるが、まちづくり団体に関しては再考すべきである。本市のように大都市郊外のベットタウンでは、マンション建設を巡って住民同士が対立することがある。よって、まちづくり問題を話し合う場を市役所と市議の事務所に限定すべきである。	・市議は、議会の権限を背景に市全体の将来を考え行政の施策の内容と執行状況をチェックする役割を担っています。・一方各地域の身近な問題は行政だけで解決できるものではなく、住民の自主的な取り組みがあって解決する問題もあるので、地域の住民リーダーの存在が重要になります。その意味からまちづくりのリーダーの育成が重要であると考えています。
	52	各地区でのまちづくり活動を活性化させるための方法の一つとして各地区のリーダーを対象とした研修をするということであるが、市議と別個にそんなものが要るのか？	
	53	(P18) 遊び 中京競馬場 道路景観を確保する 健康 藤田保健衛生大学 道路景観を確保する 自然 二村山・勅使池 道路景観を確保する 遊びの中心が中京競馬場というのは如何なものでしょう。射幸心をあおったり、雰囲気や環境(負けた馬券の投げ捨て等)で近隣の人たちが困惑している。 健康の拠点が病院というのも驚き、ここへ行くと健康増進のためのアドバイスがいつでも伺えたり、食生活で成人病予防のあり方や運動器具が設置してあり、それらの使用方法、身体能力の維持・改善に関するサポート体制がどうか。	・第1次都市マスタープランの内容に対する問題指摘ですが、この点も踏まえて本計画は検討しています。

	番号	意見内容(概要)	対応
市の対応方法、考え方、市民参加に関する意見	54	(P22、24)北の玄関口のところでは地下鉄延伸ありき、地下鉄6号線・鉄道では目途が立てられない、困難であるとし、考え方が首尾一貫していない(あったらいいな、しかし無理だろう)。苦悶して理想と現実の狭間で揺れている。 地下鉄全体では、累積欠損金4469億円でH22年までに黒字化とのことだが、これはなかなか困難と思う。単年度では敬老パスを廃止し普通に料金を支払ってもらうことで黒字化できそう。	・第1次都市マスタープランの内容に対する問題指摘ですが、この点も踏まえて本計画は検討しています。
	55	平成18年度国土交通省の「美しいまちなみ大賞」は滋賀県近江八幡市が受賞し、愛知県では犬山市が数年前に受賞している。読売新聞社が「美しい街並み」で思い浮かべる地名上位は、京都、倉敷、奈良、金沢、高山、札幌、神戸、函館、萩、沖縄、鎌倉、仙台、北海道、横浜、長崎、津和野、白川郷、嵐山、富良野、小樽。県内では先の犬山や半田、近くでは有松など街並みが美しいところがある。残念ながら豊明市に住んでいながら、画趣をそそられることがない。だから景観について云々するレベルに至っていないと思う。	・都市景観に対する意識啓発を進める必要があります。
	56	豊明市には歴史や文化を慈しむ気風は極めて薄いようだ。そのため郷土資料館や博物館等の文化施設はありません。鎌倉街道も文人墨客が通ったのでしょうか逗留することは少なかったようです。江戸時代には知立や鳴海が宿場になっており、多くの旅籠もあり、有松の絞りと同様に鳴海絞りが旅人の土産として利用された。日本の二大南画家の一人池大雅の扁額も多くの人に顧みられることもなくひっそりと八幡社に掛けられている。	・地域の歴史文化に対する関心を高めるような取り組みを計画に盛り込んでいます。
	57	地産地消しかできないと仮定すると豊明市民は45kgくらいしか食料がないため、農業生産、製造業ともにもっと生産効率を上げる必要がある。	・そのために、農地保全や基盤整備及び工業用地の確保が必要と考えています。

	番号	意見内容(概要)	対応
市の対応方法、考え方、市民参加に関する意見	58	(P5)人口・世帯数は2016年までの予想が出ているので、そこまでのグラフ化をして欲しい。また、外国人の方の人口・世帯数についても、特に市内各町について表及びグラフ化して欲しい。三河の自治体では、文化の相違により日常生活において様々な問題が発生し、外国人の方との共生が話題となっており、外国人の多い、増える町を把握し、その対策をどの様にたてるか。このことは、高齢者の人口などについても言えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・P35の将来フレームでグラフの挿入を検討します。 ・異文化共生の問題は、本市でも重要な課題となりつつありますが、相互理解を深める交流や教育分野での対応が必要と考えます。
	59	(P29)「少子化を食い止め、人口増加を図る施策…」という表現は、個人の尊重、幸福追求権(第十三条)、婚姻の自由(第二十四条)憲法の理念に反するため「少子化の原因を把握し、それを解決する施策を積極的に行なう」としたらどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨は同じです。危機感を強調した表現にしてあります。
	60	(P29 18行目)「そのためには」以下は「正社員を積極的に採用する企業の誘致や子供の養育環境を高めていく施策を積極的に進める」としてはどうか。都市(再)開発自体は、養育環境を高めることに直結しないし、多額の費用を要し、ひいては、子供の養育費に直結する福祉、教育予算の削減につながるため。最近協定を結んだ愛知教育大学、かかりつけ医、藤田保健衛生大学病院や東浦町にあるあいち健康プラザなどとの協力強化、有効利用も養育環境を高める施策になると思う。特に保育者51年の歴史、10,600名の卒業生、子育て交流会や子育て講座を実施して地域の保育の質を向上し保育者向けの講座や卒業生を生涯にわたってサポートする「保育子育て研究所」を設置し、約800名の保育学生を擁する名古屋短期大学保育科と桜花学園大学保育学部との相互協力は重要です。	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策は、総合計画と関連の個別計画(次世代育成計画)で示しています。
	61	養育環境を高める一環として名短保育課と桜花学園大保育学部との相互協力は重要。	

	番号	意見内容(概要)	対応
市の対応方法、考え方、市民参加に関する意見	62	(P30)防犯灯の設置推進などが重要となっています。防犯灯については、豊明市は他の自治体に比べ町内会の負担が多いと聞いています。行政の最大の目的は市民の安全であり、その対策となる防犯灯の設置推進は進めてもらいたい。他の自治体との比較表と目標値も明示することが市民の安全に対する姿勢を示すことになる。町内会費は任意であり集金も低下しており、全ての市民に恩恵を与える防犯灯については税金によって行政が責任をもって行うべきです。そのことが身近なまちづくりの主体となる町内会への間接的な財政支援になります。	・地区別計画において、区長要望事項として整理しています。
	63	(P30)防災マニュアルとともに「ハザードマップ」も市民協働で作成するのが有効で実践的だと思う。	・立ち上がりつつある自主防災組織の中で検討します。
	64	(P31)「職員の育成から始まる都市づくり」という表題がおかしい。不透明感、閉塞感は外的要因だけでなく内的要因である行政自体にも言及すべき。情報公開等の行政の透明性、縦割り行政による行政の閉塞感は今日のまちづくりの重要課題であり明記すべき。市民要求把握力や市民能力引出しの能力など何が職員に求められているかを明記した方がよい。自活した市民を育成したければ財政を明確にする等の説明責任を果たすべき。	・「人材の育成から始める都市づくり」に変更します。
	65	(P34)住民が地域に愛着と誇りを持つには、コスモス児童館建設時のようなWSや椎池整備における花の手入れ等の取組みが有効。加えて行政の支援も必要である。	・指摘の趣旨も踏まえてすでに推進しています。
	66	第4次豊明市総合計画では、火葬場の建設も予定されていますが、高齢化が進み、他の自治体では、工場のように「処理」されるようになった所もあると聞きます。火葬場について、人間の尊厳を守り自然に帰ることが実感できるような施設の建設を望む。	・建設計画の策定の段階で、市民の意見を聞きながら策定します。

	番号	意見内容(概要)	対応
市の対応方法、考え方、市民参加に関する意見	67	近年、反対運動もありましたが、市役所に近い商店街に葬儀場が建設されました。必要ですが嫌悪施設については条件をつけて市街化調整区域に建設するよう検討すべき。市街化調整区域に建設できれば近隣との調整も不要となり、地価も低いので多くの駐車場を確保しやすく、交通の混雑を避けることになる。市街化区域での建設は住宅や商店街に特にメリットはない。このような敷地には各市街化区域にふさわしい住宅や商店、公共施設などにしていくような都市計画が望まれる。	・都市計画の用途規制にもとづいて進めています。
	68	パルネスにある図書館を拡充してはどうか、まじめな中高生で机がいっぱいになっているのを良く見かける。若い男女の出会いの場、健全な場所をつくることにより、婚姻、お子様の誕生、少子化対策に有効となる。公共施設と商店を相乗的に組み合わせ最大の効果を創出しましょう。	・現状では拡充の余地はありません。
	69	総体的には細部に渡りよく吟味され検討も加えられている。反面、今までのプラン同様総花的で既定事実に捕われ斬新さに欠ける。	・概要版で計画のポイントをわかりやすく説明します。
	70	何も知識のない私としては、内容どうこうという前に表現の難しさで見る気が薄れました。せっかく委員の皆様方が豊明を良くしようと日々奔走されているのに、その努力が市民に伝わらないのはもったいない。原案とは別に、誰が読んでもわかる簡単な表現の案件も作成し公表してはどうか。また、情報の範囲ももう少し狭いほうが見やすいと思います。	・概要版を作成します。
	71	HPの資料はコピー可能なものにし、併せて、都市マスにおいては地図は非常に重要ですのでわかりやすくしてほしい。	・概要版でわかりやすい地図を掲載します。
	72	都市づくりの方針と地区別計画の位置付けや違いを説明したページを(地区別計画冒頭に)1枚挟んではどうか。	・長期的な都市整備方針と住民参加により身近な問題の解決や環境改善の課題を検討してきた地区別計画との性格の違い

	番号	意見内容(概要)	対応
			を記述します。
	73	年表記と年度表記があるが、年度表記が望ましいのに年表記となっている箇所に注意。	・再度精査します。